「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備(立哨・巡回・接遇)」の様子

10月15日(水)15時~17時に「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備(立哨・巡回・接遇)」に関するウェビナーを開催しました。小売業の皆様や防犯関係者様など約60名の皆様にご参加いただきました。アンケート等より、科学保安・顔認証システム・万引行動検知&セルフレジ不正検知などのニーズが高いことを再確認しました。なお、通信上の不具合により中断する場面がありご迷惑をお掛けしました。不具合部分を編集した動画を配信する予定です。

参加者のアンケート・ご質問より抜粋

- ① 初めて参加させていただきましたが、「防犯」という明確な目的に向けて幅広い観点から総力上げて活動されていらっしゃることがよくわかりました。ありがとうございました。ご発表された方の熱意が大変伝わってきました。関連団体様
- ② フレームレートの設定値と録画期間の関係が良かった。ドラッグストア様
- ③ 不審者判別の為の目をつけるべきポイント「予動作」等をわかりやすく紹介いただき、実際に事業所で活用できると思う。総合小売様
- ④ ロスプリベンションのお話の中で、セルフレジの防犯の話がありましたが、弊社もカメラで、などの被害があるのを確認しています。お伺いしたいのは対応方法です。セルフレジではお客様に商品登録してもらうため、故意ではないうっかりの登録忘れが発生します。故意かそうではないかの判別が瞬時には難しく、後に映像で確認して故意だとわかる状況です。故意の場合は何とかしたいと思っています。ディスカウントスーパー様
 - ・上記の映像がある場合、警察に被害届を出すことが可能でしょうか。
 - ・マークしている客が来て同じ行為を現認した場合、保安員が確保することは可能でしょうか
- ⑤ 警備面の内容があったのがよかったです。関心があったため。食品スーパー様
- ⑥ 顔認証の登録作業が店舗ではできないので、そういったパッケージがあると望ましい。ドラッグストア様
- ⑦ 今回セミナーは大変よかった。ドラッグストア様 2 社



YOTSUYA TOWER 7 階 高千穂交易(株) セミナールーム 5 より配信

セミナー配布資料等

https://www.jeas.gr.jp/pdf/20251015.zip

カメラシステム設計が効率的かつ簡単に(AXIS Site Designer)

https://www.axis.com/ja-jp/support/tools/axis-site-designer

IDX 推進のための関連お役立ち情報|

警視庁犯罪情報マップ

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/jiken_jiko/hassei/map_annai.html

国の統計サイト e-stat

https://dashboard.e-stat.go.jp/

e-stat を使ってのグラフの作図方法例

https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/seminar_d/fil/kiyou1.pdf

https://www.isc.senshu-u.ac.jp/jtext/text2019/EBchap7_st.pdf

